

甲府商科専門学校だより十一月号

メリハリのある生活

メリハリをつけると言いますが、元々は邦楽で演奏に音の高低や抑揚をつけることから転じて、集中して頑張る時間と力を抜いて休む時間を上手に切り替えることを表します。皆さんが資格取得や内定を目指して頑張っている時は、目標があるため、集中力が維持できていると思いますが、試験が終わったから、内定が取れたからといって、気が緩んだまま日々を過ごしている学生はいませんか？ そうした態度は油断や隙を生み、思わぬ失敗を招きかねません。何か一つの事が終わった時こそ、気持ちをリセットし、新たな目標を見据えてメリハリのある生活を送ってください。(耕)

企業ガイダンス等情報

- は一年次対象 ◎は二年次対象
- 十一月三十日(土)
 - ・YBS主催「ジョブリサーチ・インターンシップフェア」
 - ・一部：九時三十分～、二部：十二時三十分～、三部：十五時三十分～ アピオ甲府
- 十二月十五日(日)
 - ・マイナビ主催「インターンシップ&キャリア発見フェア」
 - ・十三時～十七時 市川三郷町生涯学習センター
- ◎十二月十四日(土)
 - ・山梨労働局主催「やまなし合説フェア2024」
 - ・十三時～十六時三十分 県

立図書館

【中田貴映先生より】

19世紀後半、テオ(通称)という名の知れた美術商がいました。彼の兄は独学で絵を学ぶ若き画家でしたが、非常に思い込みが激しく気難しい性格のため、対人トラブルが絶えず、孤独で貧しい生活を送っていました。それでもテオは兄の才能を信じ、経済面だけでなく精神面でも常に寄り添い、兄を支え続けました。テオの手厚い支援により、なんとか画家として活動を継続できた兄ですが、やがて精神を病み、37歳で生涯を終えました。なお存命中に売れた絵は一枚だけといわれており、いずれれの作品もほとんど評価されませんでした。そしてテオもまた兄を亡

くした喪失感から病に倒れ、ほぼ同時期に亡くなっています。テオの見返りを求めない献身は、損得勘定だけで見れば「損」と思えるかもしれませんが、しかし彼ら兄弟のたどった道は後に高い評価を受け、世界中の人々に希望の光をもたらすことになりました。ちなみにテオの本名はテオドール・ファン・ゴッホといえます。

【川口知男先生より】

私はいつも「5人の自分」と会話をしている。

ある冬の朝、学校の正門を入ると、誰もいない駐車場の真ん中に風で舞っているビニール袋を車の助手席に座っている【第1の自分】が見つけた。すると、後ろの席の【第3の自分】が、運転している【第2の自分】に、「どうする車から降りて拾う？」それとも、そのまま通り過ぎる？「と、YES」か「NO」かの決断を迫ってきた。【第2の自分】が答えた。「拾わないよ、寒いし面倒くさいし、どうせ風でどこかへ飛んでいくから」と。そうしたら、後ろの席でその会話を聴いていた【第4の自分(未来の自分)】が、「それ、ダメだよ。俺、納得できないよ、ダメダメ！」。さらに、【第4の自分】の横にいた【第5の自分(他人になった自分)】が、【第2の自分】を怖い顔で睨みつけていた。一瞬の出来事(会話)だった。

学生の皆さん、皆さんは学校生活のなかで、いつ、どこで、どんなことで、どのような内容で『自分の自分と』会話をしていますか。良かったら聞かせて下さい。

【学校行事・連絡等】

◎11月・12月の学校行事

- 11月
 - 6日(水)月曜日の授業実施
 - 10日(日)サーブス接遇検定
 - 16日(土)秘書検定
 - 17日(日)日商簿記検定
 - 19日(火)体育大会
 - 20日(水)県民の日
 - 24日(日)全経簿記検定・CG検定
 - 25日(月)推薦入試
 - 30日(土)A+検定
- 12月
 - 1日(日)文書検定
 - 8日(日)基本科目A免除試験
 - 9日(月)教養講座
 - 14日(土)Python検定・コンピュータ会計検定
 - 18日(水)西下条地区GG交流会
 - 19日(木)教養講座
 - 21日(土)AI検定
 - 25日(水)全校集会
 - 26日(木)冬季休業開始

◎新ALITセレーネ先生着任

みなさん、はじめまして。アメリカのアイダホ州から来ましたセレーネ・オルティス・カリヨです。セレーネ先生と呼んでください。この学校に勤務できることを光栄に思います。私の家族はメキシコ出身で、スペイン語が第1言語です。インディアナ州ノートルダム大学修士課程でスペイン美術を



学びました。その間スペイン語の教師もしていましたが、言語を教えることに喜びを感じます。みなさんの英語力が向上するよう一生懸命頑張りますので、みなさんも私に日本語を教えてください。趣味は、料理、絵を描くこと、スポーツ観戦です。これから山梨や日本文化についても学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

◎学生が甲府市民憲章唱和を先導



10月17日(木)に甲府市制135周年記念式典が甲府市総合市民会館で行なわれ、本校代表学生・渡邊愛華さん(甲府商業高校出身)が甲府市民憲章の唱和を先導しました。多くの出席者の前で、渡邊さんは立派に大役を務めてくれました。

【学生部】

◎五年ぶりにGG交流大会開催

9月13日(金)にJITリサイクリングスタジアムで県グラウンドゴルフ協会の皆様と親善交流大会を開催しました。令和元年以来五年ぶりとなる開催で、協会と入念な打ち合わせをして大会に臨みました。開会式・閉会式は学生が司



会や宣誓を行ない、競技は各グループに必ず協会の皆様に入ってください。特に一年生は初心者が多かったです。徐々に慣れ、お褒めの言葉をいただく学生もいたそうです。県グラウンドゴルフ協会の皆様、ありがとうございました。

◎第二回避難訓練実施

10月4日(金)に避難訓練を実施しました。今回は校舎に火災が発生した想定でグラウンドに避難しました。その後、甲府南消防署の職員の指導のもと、初期消火訓練を行ないました。これからの季節は大気が乾燥してくるため、思わぬ火事に遭遇するかもしれないため、地域の避難訓練にも参加し、防災意識を高めましょう。

【一学年】

◎はじめての交流会開催

～学年のきずなを深める～

8月7日(水)の全校集会終了後、一学年で交流会を開きました。「一学年全員で学科を越えて交流を深めたい」という声を受け、クラス役員8人を中心に交流会を企画・立案して実施に至りました。交流会の内容は「クイズ大会」。イントロ、学校に関する雑学、教員の趣味(個人情報?)など多岐にわたるクイズを、学年を8つに分けたグループ対抗で競い合いました。普段話をしていない学生同士が交流の輪を広げられ、盛り上がりを見せた交流会となりました。

【保健室】

最近遅刻する学生が目立ってきています。まず、毎日の起床時刻の設定から始めてみましょう。生

活習慣を整えることは、心身の健康の第一歩です。

暑い日が続いていましたが、朝夕は秋の気配を感じるようになりました。そのためか体調を崩す学生が多くなっています。コロナウイルスだけでなく、ウイルス性の胃腸炎や風邪、インフルエンザの流行が心配される季節になります。うがい・手洗いの習慣化、食事や睡眠のリズムを崩さないようにする、衣服の調節や暖房の使い方の工夫など自己管理をしっかりしましょう。また室内の温度の上昇と乾燥を防ぐために定期的な換気をお願いします。

【進路支援室】

◎「二年生へ」内定式を終えたという学生も多いと思います。一方で、これまでの就職活動を振り返っていることありませんか。進路が決まっている学生も、未定の学生も、「こんなはずじゃなかった。」と思っていることがあるならば、この時期に相談、解決しておきましょう。いざ入社してみたら「思っていたものと違った」と、ならない為にも、疑問や不安は早めに担任・進路支援室に相談し、解決して行くことが重要です。疑問や不安をそのままにしないこと。それは就活だけでなく社会に出てからも必要な力です。

◎「一年生へ」

十一月と十二月にかけて、インターンシップ・業界研究イベントが控えています。これらのイベントに参加し、年内に自身の就活の方向性を固めておきましょう。

【教科主任より】

(商業科)

◎11月17日に日商簿記検定の統一試験があります。日商簿記ネット試験も随時受験となります。課外に出席し答案練習を重ね、間違えた問題をしっかりと対策していくことが合格への近道です。わからないことは積極的に担当の先生に質問してください。注意点としては、問題の読み込みが不十分でケアレスミスになることです。ポイントを押さえて解答してください。また時間内に解答できないと合格はおぼつきません。「速く正確に」を心掛けましょう。皆さんの合格を期待しています。

(情報科)

◎2年生は、本校での生活は残り半年を切りました。悔いを残さぬように引き続き知識を蓄えて技術を磨いて下さい。

◎情報処理技術者試験は、国家試験です。難しいから価値がある!諦めず、へこたれず、前に進み続けたその先に、得られる喜びを味わえるよう、前進あるのみです。

【検定合格者】

◎日商簿記2級合格者

(令和6年8月20日実施)

〈会計情報科2年〉

久米田 南美

(令和6年10月13日実施)

〈会計情報科1年〉

赤澤 円

(令和6年10月20日実施)

〈会計情報科1年〉

仲田 閑樹